

**事業名** にいがた連携公開講座（広域遠隔学習推進事業）

**目的** 多様化、高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるため、県民の大学等と連携して、良質かつ高度な学習機会の提供。  
テレビ会議システムを利用して、会場から離れた市町村等へ配信し、学習機会の拡大を図るとともに県民の生涯学習をめざす。

**実施主体** 新潟県・新発田市教育部加治川地区公民館

**参加対象** 成人

**参加者数** 140名

**回数** 2回 **日数** 2日 **時間** 4時間

**場所** 加治川地区公民館

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月8日（火） 午後1時30分～ 午後3時	『困った人たちとの付き合い方』 ～職場・学校・近隣のトラブルメイカーと共に～	新潟青陵大学大学院 教授 碓井 真史
	内容・方法	うそつき、ほらふき、目立ちたがり屋、乱暴者、わがまま、泣き虫、ひきこもり、自慢屋、クレマー、自己中心的、モンスターペアレントなどなど、職場、学校、ご近所にいる『困った人々』。縁を切りたいと思っても切れないならば、何とか少しでも、上手くいく方法を考えましょう。彼らの淋しい部分、神経症的な部分、人格障害的部分を心理学的に理解し、様々な人々と共に生きていく方策について、ご一緒に考えました。	
2	11月23日（日） 午後1時30分～ 午後3時	『江戸時代の旅と越後の観光名所』	県立歴史博物館学芸課 主任研究員 渡部浩二
	内容・方法	江戸時代は庶民の間でも、旅が盛んになった時代です。越後の人びとも伊勢参りや湯治などのために、他国を旅することが増えてきましたが、そのような旅の実態を紹介します。一方で、他国の人びとも越後を訪れる機会が多くなりました。彼らが越後のどこを訪れ、何をみたか、現在でいうところの観光名所はどこだったのかを、道中記や地図、絵画資料などを示し紹介された。	

**成果**

- ・ 少ない予算で良質かつ高度な学習の機会を得ることができる。
- ・ 7月の発信会場はテーマがクレーム、困った人たちとの付き合い方、日常生活での人間関係の悩み等がテーマで予想人数を超え90名の参加者が集まり、時代を反映したテーマで新聞で紹介された。
- ・ 11月は江戸時代の庶民の旅をテーマにした講座であり、歴史的な分野に興味のある参加者で質問もあり、熱心な有意義な講座でした。

**課題**

- ・ 参加者はテーマを選び参加するため、ニーズに合った魅力的な『テーマと講師』を選定するための方策、情報、専門的知識の基でのテーマ設定が必要

**問合せ先** 新発田市加治川地区公民館 TEL：0254-33-2433